

令和6年度(令和5年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表
2次評価者

建設部土木課

建設部長 村瀬 浩之

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
23-1	道路維持修繕事業 (維持修繕・改修)	B	道路管理瑕疵事故の発生を防ぐため、月ごとの重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めた。道路管理瑕疵は、過去10か年の平均2.2件に対し、近年は、令和3年度1件、令和4年度2件、令和5年度2件と平均をやや下回っているものの、発生の防止に努めていく必要がある。計画的に実施した改修工事4路線のほか、道路パトロールや住民要望等により通行に支障となる危険箇所の修繕工事を実施し、安全性の向上を図った。また、すぐやる隊により、道水路の危険箇所の応急処置や草刈りを始めとする住民要望へ迅速に対応し、市民から一定の評価を得ることができた。	改善推進	危険箇所を早期に発見し、道路管理瑕疵事故を未然に防止するため、道路パトロールの重点項目を見直ししながら着実に取り組むとともに、住民要望やマイルボ等に対し、早期に現場確認を行い、緊急性や必要性を踏まえて修繕を実施する。併せて、予防保全のため計画的に修繕を進めていく。また、すぐやる隊については、機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。
23-2	通学路安全対策事業	B	学校指定通学路において、学校関係者や警察等と協議しながら、道路側溝の蓋掛けや区画線の路面標示の引き直し等の整備を行い、安全な歩行空間を確保することができた。	改善推進	各学校との合同点検の結果を踏まえ、学校指定通学路の危険箇所の対策を計画的に進め、児童の安全な歩行空間を確保する。引き続き、整備に取り組み、令和6年度より20人から29人の通学路整備を進めていく。
23-3	道路環境美化事業	B	市内一円の道路用地の定期的な樹木等管理委託4件と1箇所の防草対策を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。防草対策後には草の繁茂が再発しないよう対策実施箇所の経過観察を行い、必要に応じた改善を行いながら防草効果を継続させる必要がある。	改善推進	引き続き、市内一円の除草等を実施するとともに、定期的な道路パトロールや住民要望等により、新たに除草が必要な箇所が確認された場合は、緊急性や必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。
23-4	新病院アクセス道路改良事業	B	新病院周辺道路の整備については、一部残っていた用地を買収し道路改良工事を行ったほか、知多横断道路からの緊急車両退出路の詳細設計を行うとともに、半田市・常滑市・道路公社と3者協定を締結し、工事実施に向けた準備を進めることができた。阿久比町道については、名鉄や阿久比町などと協議を進めて工事を発注し、道路拡幅等の整備を進めることができた。	改善推進	引き続き、新病院周辺道路の整備を着実に進めていく必要がある。また、アクセス道路の円滑な交通環境を確保するため、関係機関との協議及び進捗管理を行い、令和7年春の新病院開院に向け道路改良工事を完了させる。
23-5	道路舗装事業(維持修繕・改修)	B	計画に基づく舗装修繕工事6路線と舗装新設要望1路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合いが異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。	改善推進	過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
23-6	橋梁維持修繕事業 (維持修繕・改修)	B	修繕工事による適切な維持管理を行うことで、橋梁の安全性を確保することができた。また、計画に基づく橋梁点検については、職員により実施することで、コスト縮減を図ることができた。	現状維持	引き続き、定期点検による異常箇所の早期発見と計画的な修繕を継続して行うことにより、道路橋の予防保全に努める。点検手法については、新技術の活用を検討や職員による点検を組み込み、コスト縮減を図る。
23-7	用悪水路改修事業 (維持修繕・改修)	C	改修工事については、早期に支障物件の移設を行い、着実な進捗に努める。住民要望や道路パトロール等で発見した危険箇所については適切に修繕工事を行い、排水機能を確保することができた。	改善推進	用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロール等により危険箇所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、予防保全的な観点から計画的に修繕、改修を進めていく。また、すぐやる隊の機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。
23-8	水路環境美化事業	B	市内一円の水路用地について、定期的な樹木等管理委託4件と計画的な防草対策工事2箇所を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。また、防草対策実施後は、草の繁茂が再発しないよう経過観察及び端部箇所等のメンテナンスを行い、防草効果を継続させる必要がある。	改善推進	引き続き、市内一円の除草等を実施するとともに、定期的な道路パトロールや住民要望等により、新たに除草が必要な箇所が確認された場合は、緊急性及び必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。
課等長	1次評価（令和5年度の総括評価）				
B	道路維持修繕事業は、道路管理瑕疵事故発生ゼロを目標として、月ごとに重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めたが、2件の管理瑕疵事故が発生した。また、計画路線等の4路線を始め緊急性の高い路線の道路維持改修工事や、通行に支障となる危険箇所などの修繕工事を実施し、健全な生活道路の維持と安全性の向上に努めた。必要に応じて重点項目を見直ししながら、継続的に道路パトロールを実施するとともに、道路維持工事については緊急性や必要性を踏まえて早期な対応に努める必要がある。 通学路安全対策事業は、学校指定通学路について、30人～39人が利用する路線の整備が完了し、安全性の向上を図った。今後も通学路整備を計画的に実施していく必要がある。 道路環境美化事業は、樹木等管理委託4件と防草対策1箇所を実施し、住環境の向上を図ることができた。防草対策後の経過を観察し、端部等のメンテナンスを適切に行う必要がある。 新病院アクセス道路改良事業は、用地買収が完了し、新病院建設工事と工程調整しながら新病院周辺の工事を進めることができた。阿久比町道の道路整備については、関係機関と密に協議を重ね、病院開院に遅れを生じないように進めることができた。 道路舗装事業は、計画に基づく路線など7路線の舗装修繕・改修工事、住民通報や道路パトロール等で確認した危険箇所の修繕を実施し、安全性の確保を図った。舗装修繕計画の見直しを行ったが、舗装の劣化については、交通量や利用状況により異なるため、定期的に修繕計画を見直す必要がある。 橋梁維持修繕事業は、修繕工事による適切な維持管理を行うとともに、8橋全ての定期点検を職員により実施し、コスト縮減を図ることができた。 用悪水路改修事業は、住民通報や道路パトロール等で確認した危険箇所の修繕工事を行い、排水機能の確保を図ることができた。改修工事1箇所については、関係機関との調整に時間を要し遅れが生じたため、遅れが生じないように取り組む必要がある。 水路環境美化事業は、樹木等管理委託4件と防草対策2箇所を実施し、住環境の向上を図ることができた。また、防草対策後の経過を観察し、端部等のメンテナンスを適切に行う必要がある。				
部等長	2次評価（令和5年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
B	道路維持修繕事業は、道路管理瑕疵事故ゼロを目指し、適切な道路パトロールおよび予防的な修繕に努めること。住民要望やマイレボは、緊急性や必要性を適切に判断し、早期対応に努めること。 通学路安全対策事業は、計画的に整備を進めるとともに、学校等と合同で行う通学路点検などにより確認した危険箇所は、早急に改善を図ること。 道路及び水路環境美化事業における防草対策を進め、防草効果が継続するように、必要に応じて対策方法の改善を図ること。 新病院アクセス道路改良事業は、関係機関との協議を適切に行うとともに、進捗管理をしっかりと行い道路改良工事を遅滞なく完了させること。 道路舗装事業は、路面調査や道路パトロールの結果を踏まえ、定期的に修繕計画を見直し、予防保全に努めること。 橋梁維持修繕事業は、予防保全の観点から、定期点検及び点検結果に基づく修繕を計画的に実施すること。 用悪水路改修事業は、工事の進捗管理を適切に行い、遅滞なく実施すること。				

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-1																																								
PDCA	主要事業名	道路維持修繕事業（維持修繕・改修）	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																								
P	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 218,770 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.02.02.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理道路について、適正な維持管理を行い、道路利用者の安全を確保する。																																												
		事業目的： 市内一円の道路を維持管理する。																																												
		事業内容： 市内一円の道路施設の維持修繕・改修工事を行う。																																												
		問題点： 多種多様な要望等がある中、道路瑕疵に繋がる道路状況を発見し、緊急性や課題等： 必要性を考慮し、迅速な対応が必要である。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	218,770 千円	住民生活の基盤となる道路において、安全で快適な通行を確保するため、修繕や改修を行う必要がある。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 146,427 千円	快適で安全な道路を確保することができる。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">道路維持改修路線数</td> <td>実績値</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	道路維持改修路線数	実績値	5	3	-	路線	目標値	5	3	4	路線		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	道路維持改修路線数	実績値	5	3	-		路線																																							
		目標値	5	3	4		路線																																							
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 0 千円																																														
その他 72,343 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																												
	215,931 千円	通行に支障となる危険箇所及び不具合を修繕することで、道路利用者の安全を確保することができた。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">道路維持改修路線数</td> <td>実績値</td> <td>4</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>4</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	道路維持改修路線数	実績値	4	路線	目標値	4	路線																													
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	道路維持改修路線数	実績値	4	路線																																										
目標値		4	路線																																											
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 道路管理瑕疵事故の発生を防ぐため、月ごとの重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めた。道路管理瑕疵は、過去10か年の平均2.2件に対し、近年は、令和3年度1件、令和4年度2件、令和5年度2件と平均をやや下回っているものの、発生の防止に努めていく必要がある。 計画的に実施した改修工事4路線のほか、道路パトロールや住民要望等により通行に支障となる危険箇所の修繕工事を実施し、安全性の向上を図った。 また、すぐやる隊により、道水路の危険箇所の応急処置や草刈りを始めとする住民要望へ迅速に対応し、市民から一定の評価を得ることができた。																																												
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 危険箇所を早期に発見し、道路管理瑕疵事故を未然に防止するため、道路パトロールの重点項目を見直しながら着実に取り組むとともに、住民要望やマイレボ等に対し、早期に現場確認を行い、緊急性や必要性を踏まえて修繕を実施する。併せて、予防保全のため計画的に修繕を進めていく。 また、すぐやる隊については、機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある	※手段の変更																																								
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	-																																									
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																											

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-2																																								
PDCA	主要事業名	通学路安全対策事業	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 2 単位施策：交通安全 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 50,210 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.02.02.52					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 市内一円の通学路整備を実施し、児童の安全を確保する。																																												
		事業目的： 市内一円の通学路の安全を確保する。																																												
		事業内容： 市内一円の通学路の整備を行う。																																												
		問題点： 児童が安全に通学できるように、計画的な通学路の整備による歩行空間の確保 課題等： 保が必要である。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	50,210 千円	児童の安全な通学を確保するため、歩行空間の確保や安全対策を実施する必要がある。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 33,641 千円	安全・安心な通学路を確保することができる。																																												
	国費 16,569 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校指定通学路整備率 (30人～39人)</td> <td>実績値</td> <td>80.3</td> <td>95.9</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80.3</td> <td>95.9</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	学校指定通学路整備率 (30人～39人)	実績値	80.3	95.9	—	%	目標値	80.3	95.9	100.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	学校指定通学路整備率 (30人～39人)	実績値	80.3	95.9	—		%																																							
		目標値	80.3	95.9	100.0		%																																							
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
0 千円																																														
その他 0 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																												
	42,145 千円	学校指定通学路の安全対策を行うことで、児童の安全を確保することができた。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校指定通学路整備率（30人～39人）</td> <td>実績値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	学校指定通学路整備率（30人～39人）	実績値	100.0	%	目標値	100.0	%																													
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	学校指定通学路整備率（30人～39人）	実績値	100.0	%																																										
		目標値	100.0	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 学校指定通学路において、学校関係者や警察等と協議しながら、道路側溝の蓋掛けや区画線の路面標示の引き直し等の整備を行い、安全な歩行空間を確保することができた。																																												
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 各学校との合同点検の結果を踏まえ、学校指定通学路の危険箇所の対策を計画的に進め、児童の安全な歩行空間を確保する。引き続き、整備に取り組み、令和6年度より20人から29人の通学路整備を進めていく。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある ※手段の変更																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	—																																									
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																												

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-3																																								
PDCA	主要事業名	道路環境美化事業	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ~ 5 年度 全体事業費等： 31,320 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.02.02.53					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理道路について、快適な住環境の創出と安全性の確保のため、除草委託および雑草防止対策を実施する。																																												
		事業目的： 市内一円の道路について、快適な住環境の創出と安全性を確保する。																																												
		事業内容： 市内一円の道路の除草及び雑草防止対策工事を行う。																																												
		問題点： 施工時期の調整が必要である。 課題等：																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	31,320 千円	快適な住環境を創出し、道路利用者の安全を確保するため、除草及び雑草防止対策を実施する必要がある。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 31,320 千円	快適な住環境の創出や道路利用者の安全を確保することができる。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">防草対策箇所数</td> <td>実績値</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	防草対策箇所数	実績値	5	-	-	か所	目標値	5	3	1	か所		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	防草対策箇所数	実績値	5	-	-		か所																																							
		目標値	5	3	1		か所																																							
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 0 千円																																														
0 千円																																														
0 千円																																														
0 千円																																														
0 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																												
	30,721 千円	市の管理する道路用地の除草及び防草対策を行うことで、快適な住環境の創出と道路利用者の安全確保を図ることができた。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">防草対策箇所数</td> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	防草対策箇所数	実績値	1	か所	目標値	1	か所																													
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	防草対策箇所数	実績値	1	か所																																										
目標値		1	か所																																											
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 市内一円の道路用地の定期的な樹木等管理委託4件と1箇所の防草対策を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。防草対策後には草の繁茂が再発しないよう対策実施箇所の経過観察を行い、必要に応じた改善を行いながら防草効果を継続させる必要がある。																																												
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 引き続き、市内一円の除草等を実施するとともに、定期的な道路パトロールや住民要望等により、新たに除草が必要な箇所が確認された場合は、緊急性や必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある																																							
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更																																								
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	-																																							

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-4																																						
PDCA	主要事業名	新病院アクセス道路改良事業	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 2 年度 ～ 6 年度 全体事業費等： 990,864 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.03.02.54					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																						
	事業概要等	事業概要： 新病院への救命、救急に関わる緊急車両の通行を確保するとともに、利便性の高いアクセス道路を整備する。																																										
		事業目的： 新病院への道路交通の利便性及び安全性を確保する。																																										
		事業内容： アクセス道路に係る道路改良工事等を行う。																																										
		問題点： 令和7年春の新病院開院に向け、着実に事業を進める必要がある。また、阿課題等： 久比町や鉄道事業者と円滑な調整を行い、事業を進める必要がある。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	248,204 千円	新病院への円滑な交通環境の確保及び利用者の利便性と安全性を向上させるため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 228,204 千円	新病院への円滑な交通環境が確保されるとともに、災害時には、救命救助をはじめ、物資供給などの応急活動のために、緊急車両の輸送路として機能する。																																										
	国費 20,000 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業進捗率</td> <td>実績値</td> <td>6.9</td> <td>29.5</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>11.1</td> <td>24.3</td> <td>54.8</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	事業進捗率	実績値	6.9	29.5	—	%	目標値	11.1	24.3	54.8	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																							
事業進捗率	実績値	6.9	29.5	—	%																																							
	目標値	11.1	24.3	54.8	%																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																										
	234,857 千円	境界確定測量等を実施し、地権者と交渉した結果、必要な用地を買収することができた。また、道路改良工事の実施により、新病院への円滑な交通環境の確保に向けた整備を進めることができた。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業進捗率</td> <td>実績値</td> <td>56.7</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>54.8</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	事業進捗率	実績値	56.7	%	目標値	54.8	%																											
	成果指標		令和5年度	単位																																								
	事業進捗率	実績値	56.7	%																																								
		目標値	54.8	%																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 新病院周辺道路の整備については、一部残っていた用地を買収し道路改良工事を行ったほか、知多横断道路からの緊急車両退出路の詳細設計を行うとともに、半田市・常滑市・道路公社と3者協定を締結し、工事実施に向けた準備を進めることができた。阿久比町道については、名鉄や阿久比町などと協議を進めて工事を発注し、道路拡幅等の整備を進めることができた。																																										
	A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 引き続き、新病院周辺道路の整備を着実に進めていく必要がある。また、アクセス道路の円滑な交通環境を確保するため、関係機関との協議及び進捗管理を行い、令和7年春の新病院開院に向け道路改良工事を完了させる。																																									
		観点別評価	必要性		有効性		効率性																																					
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																				
②市民ニーズ	高い		⑤成果向上の余地	ある																																								
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																						

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-7																																								
PDCA	主要事業名	用悪水路改修事業（維持修繕・改修）	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 76,276 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.03.03.02.50					目標項目（予算計上時に作成）																																								
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理水路について、快適な住環境の創出と浸水被害等の軽減を図る。																																												
		事業目的： 市内一円の水路の維持管理を行う。																																												
		事業内容： 市内一円の水路の維持修繕・改修工事を行う。																																												
		問題点： 住民要望や道路パトロールなどにより、修繕計画の見直しを行い、緊急性、課題等： 必要性の高いものから改修等を行う必要がある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	76,276 千円	適切な雨水排水処理を行い、浸水被害等の軽減を図るため、修繕及び改修を行う必要がある。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 66,631 千円	排水機能を確保し、浸水被害の軽減を図ることができる。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水路改修箇所数</td> <td>実績値</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	水路改修箇所数	実績値	3			箇所	目標値	2		1	箇所		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	水路改修箇所数	実績値	3				箇所																																							
		目標値	2		1		箇所																																							
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 0 千円																																														
その他 9,645 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額 31,594 千円	得られた成果 市内一円の市管理水路について、適正な維持管理を行い、快適な住環境の創出と浸水被害等の軽減を図ることができた。改修工事については、工事の進捗に遅れが生じ、年度内に完了することができなかった。				主要施策の成果報告書で活用 評価項目（決算時に作成）																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水路改修箇所数</td> <td>実績値</td> <td>0</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	水路改修箇所数	実績値	0	箇所	目標値	1	箇所																													
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	水路改修箇所数	実績値	0	箇所																																										
		目標値	1	箇所																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 改修工事については、早期に支障物件の移設を行い、着実な進捗に努める。住民要望や道路パトロール等で発見した危険箇所については適切に修繕工事を行い、排水機能を確保することができた。																																												
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロール等により危険箇所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、予防保全的な観点から計画的に修繕、改修を進めていく。また、すぐやる隊の機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある ※手段の変更																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	-																																									
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																												

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-5																																								
PDCA	主要事業名	道路舗装事業(維持修繕・改修)	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画: 4 - 3 - 1 単位施策: 道路 全体事業期間: 令和 5 年度 ~ 5 年度 全体事業費等: 221,983 千円 会計 一般会計 歳出科目: 07.02.04.02.50					目標項目(予算計上時に作成) 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要: 市内一円の道路舗装について適正な維持管理を行い、道路利用者の安全を確保する。																																												
		事業目的: 市内一円の道路舗装を維持管理する。																																												
		事業内容: 市内一円の道路舗装の維持修繕・改修工事を行う。																																												
		問題点・課題: 路面の点検に基づき修繕計画の見直しを行い、緊急性、必要性の高いものから題等: 予防的な観点により、計画的に修繕を行う必要がある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	221,983 千円	道路舗装の劣化・損傷による道路瑕疵を防ぎ、快適で安全な道路を維持するために修繕や改修を行う必要がある。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 193,453 千円	快適で安全な道路の通行が確保することができる。																																												
	国費 28,530 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">舗装修繕・改修路線数</td> <td>実績値</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>-</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	舗装修繕・改修路線数	実績値	8	9	-	路線	目標値	5	9	7	路線		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	舗装修繕・改修路線数	実績値	8	9	-		路線																																							
		目標値	5	9	7		路線																																							
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
0 千円																																														
その他 0 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額 255,518 千円	得られた成果																																												
	市内一円の道路舗装について、適正な維持管理を行うことで、良好な道路環境の創出と道路利用者の安全確保を図ることができた。																																													
	成果指標				令和5年度 単位																																									
	舗装修繕・改修路線数	実績値	7	路線																																										
		目標値	7	路線																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 計画に基づく舗装修繕工事6路線と舗装新設要望1路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合が異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。																																												
	A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。																																											
観点別評価		必要性	有効性		効率性																																									
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余剰	ある																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余剰	※手段の変更																																									
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない		-																																										

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-6																																								
PDCA	主要事業名	橋梁維持修繕事業（維持修繕・改修）	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 1,000 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.02.05.02.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 橋梁の安全性を確保するため、計画的かつ予防的な維持管理を行い管理コストの縮減を図る。																																												
		事業目的： 市内一円の橋梁を維持管理する。																																												
		事業内容： 市内一円の橋梁の点検及び修繕・改修工事を行う。																																												
		問題点： 5年毎の定期点検において、異常の早期発見と修繕工事を行う必要がある。 課題等： また、跨線橋や跨道橋などについては、関係機関との調整を円滑に行う必要がある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	1,000 千円	橋梁の適切な維持管理を行うために、異常を早期発見し、予防的な修繕・改修工事を計画的に実施することで管理コストの縮減を図る必要がある。 得られる成果 予防保全の観点から計画的に点検と修繕・改修工事を実施することで、円滑な交通の確保と安全性の向上を図ることができる。																																												
	財源内訳																																													
	市費 1,000 千円																																													
	国費 0 千円																																													
	県費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">橋梁点検を実施した橋数</td> <td>実績値</td> <td>30</td> <td>23</td> <td>—</td> <td>橋</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>30</td> <td>24</td> <td>8</td> <td>橋</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他 0 千円</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	橋梁点検を実施した橋数	実績値	30	23	—	橋	目標値	30	24	8	橋		実績値					目標値					その他 0 千円	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	橋梁点検を実施した橋数	実績値	30	23	—		橋																																							
		目標値	30	24	8		橋																																							
		実績値																																												
目標値																																														
その他 0 千円	実績値																																													
	目標値																																													
D 値得られた成果と実績	決算額 999 千円	得られた成果 計画的に橋梁の点検及び修繕を行うことで、円滑な交通の確保と安全性の向上を図ることができた。																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">橋梁点検を実施した橋数</td> <td>実績値</td> <td>8</td> <td>橋</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8</td> <td>橋</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和5年度	単位	橋梁点検を実施した橋数	実績値	8	橋	目標値	8	橋																														
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	橋梁点検を実施した橋数	実績値	8	橋																																										
		目標値	8	橋																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 修繕工事による適切な維持管理を行うことで、橋梁の安全性を確保することができた。また、計画に基づく橋梁点検については、職員により実施することで、コスト縮減を図ることができた。																																												
	A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 引き続き、定期点検による異常箇所の早期発見と計画的な修繕を継続して行うことにより、道路橋の予防保全に努める。点検手法については、新技術の活用を検討や職員による点検を組み込み、コスト縮減を図る。																																											
		観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
			①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある	※手段の変更																																								
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある																																												
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —																																											

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-8																																								
PDCA	主要事業名	水路環境美化事業	部課名	建設部土木課	担当 内線	加古 434																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 12,810 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.03.03.02.55					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理水路について、快適な住環境の創出及び浸水被害防止のため、除草委託および雑草防止対策を実施する。																																												
		事業目的： 市内一円の水路について、快適な住環境の創出と安全性を確保する。																																												
		事業内容： 市内一円の水路の除草及び雑草防止対策工事を行う。																																												
		問題点： 施工時期の調整が必要である。 課題等：																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	12,810 千円	排水機能を確保するため適切な維持管理を実施するとともに、快適な住環境を創出するため、除草及び雑草防止対策を実施する必要がある。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 12,810 千円	快適な住環境の創出や排水機能を確保することができる。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">防草対策箇所数</td> <td>実績値</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>か所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	防草対策箇所数	実績値	9	4	—	か所	目標値	9	4	2	か所		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	防草対策箇所数	実績値	9	4	—		か所																																							
		目標値	9	4	2		か所																																							
		実績値																																												
		目標値																																												
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 0 千円																																														
その他 0 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額 9,240 千円	得られた成果 水路用地の除草対策を行ったことで、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。																																												
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	防草対策箇所数	実績値	2	か所																																										
		目標値	2	か所																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 市内一円の水路用地について、定期的な樹木等管理委託4件と計画的な防草対策工事2箇所を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。また、防草対策実施後は、草の繁茂が再発しないよう経過観察及び端部箇所等のメンテナンスを行い、防草効果を継続させる必要がある。																																												
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 引き続き、市内一円の除草等を実施するとともに、定期的な道路パトロールや住民要望等により、新たに除草が必要となる箇所が確認された場合は、緊急性や必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある																																							
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象の変更																																								
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																								

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）